

## 日本共産党の躍進で 暮らしを守る力さらに大きく

市議会第一党の5人へ

4月26日投票の市議補選に挑戦する小池えつ子市議予定候補の事務所開きが、15日おこなわれました。会場に入りきれないほどの盛況な集いとなり、これまで医療事務職員として努めてきた、小池さんの職場の友人や上司もかけつけ、「強い信念と温かい心の持ち主」などとエールが送られました。

小池予定候補は「活動の原点は平和。福祉・医療の分野で働いてきた者として、今度は政治の場で頑張りたい」と決意表明しました。

高木晶党市委員長は「市民生活をないがしろにする現市長政治と対峙する、日本共産党市議団に小池えつ子さんを加え、市議会第一党・5人となり、みなさんと力をあわせ暮らしを守る市政へ変えたい」と小池予定候補への支持を訴えました。



## 親と子の願い踏みにじる藤井市政

4月26日投票の市長選・市議補選。市民のための市政とすることが求められる選挙です。

藤井市政の下ですすむ許されないとんでもない事態が相次いでいます。

その1つ保育行政では…。独断専行、利権・癒着の現市政に「市民の暮らし守れ」と対決・提案し、議会内外で頑張る日本共産党の議席増がどうしても必要です。

### 取手市が無償で払い下げた「戸頭東保育園」でいま何が!?

藤井市長の下で廃止された市立戸頭東保育所は、2012年、民間運営の戸頭東保育園となりました。現取手市議の親類・縁者が理事長や事務長などで運営するもので、建物も備品等も市が無償払い下げし、借地しているURの地代年間200万円も市が払っています。

同園では昨年11月から「子どもたちへの虐待」「保育士が何人もやめる」[経営への不信]などの異常事態が明るみに出て、父母の不安が広がっています。3月14日に行われた同園「保護者会」では園運営や保育内容への疑問や意見が噴出。「これでは安心できない。子どもを公立保育所へ移籍させたい」などの声が相次ぎました。その後、移籍申し込みは20人に。市と同園は「保育水準の維持と向上を図り、もって児童福祉の一層の増進

を図る」とした協定を結んでおり、藤井市長の責任が大きく問われます。

「保育の充実は市の責務。民間へ譲渡ではなく公立保育所の存続を」と求めてきた日本共産党は、同園の保育内容の向上や運営の正常化を求め、父母のみなさんと力を合わせます。

#### 元市立の井野保育所の場合でも

取手駅西口の松本眼科のビル内に2015年設立した井野保育園分園。市立の井野保育所を廃止し、市が無償譲渡した井野保育園（民間経営）の分園です。その分園の改修費として取手市は1500万円を拠出。松本ビルの賃貸料(月額40万9千円)の約10年分を拠出しました。なぜそこまで!?

### 「市長の看板」は公選法違反 市選挙管理委員会が注意

市内青柳地区に立てられた市長の顔入りの大看板。「公職選挙法(公選法)違反ではないか」と9日、開会中の市議会で日本共産党の関戸市議が質しました。

公選法では、告示前に掲示できる看板は「大きさ縦1m50cm、横40cmを超えてはならず、しかも選挙管理委員会に申請し交付を受けた証票を貼ったもの」とされています。市長の看板は縦、3m60cm、横92cmで、証票も張っていないもの。市選管は「3月4日、市民からの情報があり公選法に抵触すると啓発したが対処されていない。公選法違反であり、是正を求め注意する」としました。

市長側は翌日、同看板を覆いました。公選法は改善すべき項目も多いと共産党は考えますが、法である以上これを順守しています。



公選法に抵触するとし、目隠した顔写真入り看板(市内青柳地区)



上野たかしの活動日記 No.4



上野たかし県議会議員

3月県議会に  
取手競輪は  
廃止し有効活用を

県議会で総務・企画常任委員となった上野たかし県議。12日の委員会質疑では早速、取手競輪の廃止を求め質問しました。県は「廃止は考えていない」としましたが、神奈川県でも千葉県でも先行きの見通しが無いとして廃止を決定しています。「廃止し、市民のために有効活用を」が取手市民の多数の声です。引き続き「廃止」を求め県議会に取り上げていきます

新年度予算案などで初討論  
23日県議会最終日 上野たかし県議

議会最終日、県の新年度予算案など、今議会に上程された議案の採決が行われます。17日採決予定だった最終補正予算案も含め一括して議題になります。採決に先立ち上野たかし県議が日本共産党を代表して、23日初討論に立ちます。

# 経済効果疑問 市民も混乱？

## 安倍政権の「地方創生」・『プレミアム付き商品券』

安倍政権が「地方再生」として国が各市町村へ交付したお金。取手市に交付された1億2,000万円をプレミアム商品券として市民に発行する案が市議会で論議されました。その内容は事務費として4,000万円をかけ、その残り分を充てるというもの。商品券1セット12,000円分を10,000円で購入(1人5セットまで)できるとするものです。なお、県発行のキッズカードを持つ世帯及びシニアカードを持つ人は同セットを8,000円で購入できるとしています。

アカードを持つ人は同セットを8,000円で購入できるとしています。

日本共産党は、「やり方も不明瞭でこれでは市民の間に混乱をもたらす経済効果も明らかでない」とし「一過性の『商品券方式』ではなく、地元業者も市民も喜び、経済効果も抜群と他市・県で試され済みの「リフォーム助成制度」を創設し、1億2,000万円はその初年度分にあてよ」と提案しました。

### 更なる負担増 介護保険料 国保税ともに値上げ

介護保険制度改悪が全国的に問題になっている下、取手市は、第6期(2015~17年)の介護保険料引き上げ(基本額を600円)を明らかにしました。現在市内65歳以上の方は32,818人。年金の引き下げで毎日の暮らしはひっ迫し、利用料も払えない等深刻そのものです。保険料値上げは更なる負担です。

### 日本共産党は引き下げを提案

れ、これでは国保制度本来の『住民の命と暮らしを守る』という役割を果たせません。高すぎる国保税で市の国保会計は7億円の黒字(25年度決算)です。

平成25年度決算でみると国保税滞納世帯は2,720世帯、資格証明書発行(医療窓口でいったん10割負担)は247世帯です。土浦市では、安心して医療にかかれるよう資格証明書発行を行っていません。日本共産党は、国保会計の黒字を還元し一せ帯1万円の値下げをと提案しました。

### 年々増える滞納世帯(2,700余) 制裁措置はやめよ

また国民健康保険税引き上げ案も示さ

## 市民のための政治を 3月市議会



市民の声に基づく市政を

加増みつ子市議

7月完成を目前にした、取手駅西口前のウェルネスプラザ。パブリックコメント調査では市民の80%強が反対しました。3倍にも膨れ上がった建設費、必要な議会の議決を行わない等問題点がある中、市長は建設を強行しています。

加増みつ子市議は、現在2か所での保健センター業務をプラザへ統合することに反対し「現在地での業務拡充こそ求められる」とただしました。市民の声に基づく運営が求められます。



消費税増税、TPPに反対を

遠山ちえ子市議

消費税が8%となり個人消費が落ち込み、商店は売り上げ不振、市民の生活も地域経済も大変です。国は、TPP参加や「農業改革」の名で農業つづしをおこなおうとしています、いずれも地場産業に悪影響を与えるものです。市長は「消費税増税は法律で決まっている」「農業改革は、農協と話している」と答弁。遠山ちえ子市議は「消費税増税中止、TPP参加の中止を国に申し入れよ」と求めました。



憲法に基づく学校教育を

鈴木きよし市議

戦後70年の節目の今年。歴史の事実を正面からとらえ「二度と戦争の惨禍を起こす事のないよう」平和憲法に基づき政治をしっかりとみつめ直す教育と教科書の在り方について、鈴木きよし市議は質しました。

教育委員長は「二度と戦争を起こさないため、戦後の学校教育において日本国憲法をもとに積み上げてきた。しっかりと教育していきたい」としました。

改めて、学校現場での平和教育の充実が求められる時です。



取手の自然を守れ

関戸勇市議

旧取手市は、いくつもの窪地があり水田として耕作されてきました。国の農業政策の後退により休耕田と水田の中を流れる小川には、平家ボタルやメダカなども生息していました。こうした窪地の多くがこの10年「建設残土の捨て場」となり埋め立てられてきました。自然や生活環境に重大な影響が出てくると関戸勇市議は議会でも取り上げ、地域住民の皆さんと問題解決に取り組んでいきます。

3・27原発NO 女性行動

東海第二原発再稼働ストップ・廃炉に

3月27日(金) 14:00~16:00

取手駅東口前広場